

06.5.24 新任職員研修会受講アンケート

① 参加者年齢構成

～19歳	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	不明	合計
2	8	1	1	1		13

② 職種

医師 施設長	看護師	介護員	相談員	ケアマネ	PT	OT	ST	その他
		10	1		1			1

③ 講義内容

講義1	参考になった	参考にならなかった	どちらでもない	無記入
	13	0	0	0
講義2	参考になった	参考にならなかった	どちらでもない	無記入
	13	0	0	0
講義3	参考になった	参考にならなかった	どちらでもない	無記入
	13	0	0	0
講義4	参考になった	参考にならなかった	どちらでもない	無記入
	9	0	0	4

④ 具体的感想

講義1

- ・実際に「老健」とはどのようなところか、何を目的にしているのか理解することが出来た。在宅復帰が目的だが在宅復帰していくためにどのような視点・ケア方法で介助していくのか、在宅復帰後の事も考えてケア内容を吟味し実践していかななくてはならない事など見落としがちな重要な事を講義を通じて理解することが出来た。
- ・老健とほかの種別の施設との違いや存在意義を学ぶことができた。
- ・施設の利用者の大半はおよそ3か月で退所しなければならないことを初めて知った。
- ・介護老人保健施設とは何かという事が学べ、介護・看護について学べました。多職種協力についても学べて良かったです。
- ・私の中で科にご老人保健施設の漠然とした理念や方針が明確なものになり大変勉強になりました。
- ・老健とは何かの改めての認識、自分の職種の役割とは何かも再認識することができました。

- ・在宅は家ではない、地域生活への復帰であるということ。「家に帰るだけが正解ではない」という言葉が響きました。その為に介護職としての情報を適切に発信していけるよう取り組んでいきたいと思えます。
- ・介護老人保健施設の理念をより詳しく知ることができた。今後も今回聞いた内容を仕事に生かしていきたいと思った。
- ・1970～80年代は寝たきり老人の増加で、環境があまり良くなって離床や食事のできるスペースがなかったことを知り。今現代の環境はとてもしっかりしていることがわかりました。介護・看護の具体的な役割も今日の研修を通して学べたので勉強になりました。
- ・老健はいろいろなパターンの利用され方があったことがわかりました。
- ・老健について基本的なところを改めて学ぶことができました。老健に入所するまでの過程が細かく分類されており、施設の役割についても理解できた。
- ・基本的な考えを改めて見直そうと感じた。業務を覚える、ADLを覚えることに必死でただの排泄介助(様々な介助・・・)になっていた。

講義2

- ・支援相談員の方は、利用者の方やご家族の方と連携し、話を聞くことが仕事だと思っていたが、それ以外にも沢山の利用者の方が施設に入所する為に必要な情報などを各機関と共有し、本人や家族の方々の思いやニーズを聞きながら支援を途切れさせないように本人と施設を繋げていくとても大切な役割だという事を改めて理解することが出来た。難しい職だと思うがやりがいを感じやすい職だと思うので、やってみたいという気持ちになった。
- ・ずっと気になっていた在宅復帰の加算について詳しく理解ができた。
- ・支援相談員さんの仕事や役割について学べて良かった。
- ・ケアマネジャーとしての視点を知ることができ大変勉強になりました。
- ・施設内の窓口なイメージが強かったけれど、利用者や家族に寄り添ったり、施設外の事や多職種の方々と変わって1人1人の利用者を支えていることがわかりました。
- ・ソーシャルワーク、社会資源という言葉を知っていましたが、支援相談員の役割というものが良く理解できました。今後施設内でもより広い関係を構築していく参考になりました。
- ・支援相談員が普段何をしているのか等知ることができて良かったです。また他職種とのかかわりも大事なあと改めて思いました。
- ・支援相談員について詳しくわからなかったのが、今日詳しくわかり業務内容を理解出来ました。また本人、家族への支援を行っていたり、施設の窓口としての機能入退所の調整を行っていることを知ることができました。
- ・在宅復帰や施設稼働率等いろいろな要素を考えながら施設の経営を考えていかないといけないことが分かった。
- ・入退所の管理のみでなく、地域との関りや広報活動などたくさんの活動をしていることを知り、相談員について理解を深められた。

- ・相談員の方とお話する機会がなかったため相談員が介護へ何をしてほしいか知りことができた。文章がたくさんで少し見にくかった。

講義3

- ・実際の場面を活用して（自宅内のお風呂場やトイレ、バスなど）ケアを行っていく事がどれ程大切な事が理解することが出来た。また、こちらで勝手に支援内容（状態を見て）を決めていくのではなく、本人（利用者の方）が何をしたいのか思いや希望を踏み込んで聞いていく事も大切なのだと理解した。
- ・リハビリテーションについて詳しくしれたので勉強になりました。
- ・患者さんのニーズに合わせてアプローチを考えることが重要である事を学ぶことができました。
- ・OTやSTの方だけでなく施設内全体で意識しなければならないんだと再認識することができた。自分の職種でもできることがあると思うので積極的に行っていきたい。
- ・「生活リハ」という言葉は知っていたし実践していたつもりでしたが、生活をイメージして関わる事が重要なんだなど気がされました。
- ・介護老人保健施設のリハビリの役割や機能を改めて知ることができて良い機会となりました。
- ・ADLの活動目標よりもIADLの目標の方が多く、役割を持って生活したいという思いが多いことを学びました。また片麻痺、認知症だからといってできないと決めつけず、麻痺でもできることを探し、ADL、IADLの向上に努めるのがリハビリの役割だと改めて知ることができたので良かったです。
- ・ADLだけでなくIADLも同様に考慮していくことが大切だとわかりました。
- ・入所する過程も様々であったりできることを増やしていく、利用者の目標についても細かく聞き、目標にあったリハビリを提供していくことが大切だと改めて思った。
- ・理想は講義内容の通りですが、現場で活かせるか不安であった。在宅復帰のために在宅の状況と照らし合わせることは考えたこともなかった。今度カルテなどを見て自宅の様子も見てみようと思う。

講義4

- ・ただ食事を提供するだけでなく食事の温度や時間、本院が食べたいものだったり、嚥下状態などを加味したうえで嚥下状態に応じて食事形態を変更していくなど様々な配慮をしながら「食べたい」という気持ちを大切にしていける難しさを感じることができた。
- ・食事だけでなく食べている環境、体調面など視野を広げながら考えることが大切だと感じた。
- ・まず学会コード分類について初めて知り、食事の低下についても様々な視点で見ることによって今後の業務に生かせるという事に気がされました。
- ・調理員として食事を作る機会があるので食事を調理・提供において利用者においしくたべてもらうために様々な配慮が必要であることを学んだ。
- ・嚥下について詳しく学べたので良かったです。
- ・改めて嚥下機能について知ることができました。PTの国家試験では出題されないような知識もあり大変勉強

になりました。

- ・何気ない食事の時間の中でも快適な雰囲気やより良い食卓の環境づくりを求められていることがわかりました。
- ・嚥下障害と一口に言ってもどこに問題があるのか注意深く観察することが、重要だと思いました。「食べれないのは何が原因なのかなあ・・・環境、体調？」と思いをめぐらし確認したり、職員同士で共有することが大切だと思いました。
- ・食事で大事なことや食事介助で気を付けることを学ぶことができて良かったです。自分の施設でも生かせるらいいと思いました。
- ・栄養量の低下の理由としてその人の好き嫌いや食事の固さ、呑み込みの問題だけでなく、姿勢や食事席、スプーンやはし、テーブルの高さなどの環境にも目を向けることが大切だと理解しました。
- ・食事をするにあたって色々な要素が絡み合って食事量の低下につながっていると感じた。よく観察していく必要があると思った。
- ・普段から行っている食事介助でも利用者の姿勢、飲み込み、口腔ケアなど、口腔内もしっかり確認をして介助にあたろうと思った。
- ・一人一人の利用者をじっくり見るということをしてこなかった。安全を見ているのみだったため情報収集の材料になるという視点で見ていこうと思う。さらに多職種に共有できると良いと思った。

その他

- ・介護という職以外にもリハビリ、口腔、管理栄養士、支援相談員の方々の仕事内容を理解することができて連携していく事の大切さを知りました。今回はこのような有意義ある時間（講義）を提供していただき本当にありがとうございました。
- ・日々の業務を遂行する上で利用者の視点だけでなく「生活をイメージする」「在宅復帰したらどうなのか」という視点をもって関わるという事が重要だと思いました。特養で13年ほど介護職をし「こういうものだ」と思い込んでいる部分もありました。例えば在宅復帰の際、車椅子から180度反転して便座に座るので老健でもそのトレーニングをしているという話は「なるほど」と思いました。そういう視点が「特養と違う又は特養には欠けがちな考えなのだな」とも思いました。非常に参考になりました。
- ・もう少し明るいところで受講したかったです。電気をつけるだけでも良かったです。